

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly

2025～2026年度 国際ロータリー フランチエスコ・アレツォ 会長テーマ
UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日 12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL〈0566〉22-2111
FAX〈0566〉25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ <http://www.kariya-rotary.com>
会長 近藤 純子
幹事 加藤 大志朗
会報委員長 杉浦 守康

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3291回例会プログラム

[当年度=11回目；当月=3週目]

2025年（令和7年）10月20日(月)

1. 例会………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……〈会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング齊唱……

それでこそロータリー

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 会長挨拶並びに会長報告

7. 幹事報告

8. 出席報告

9. 委員会報告

10. ニコニコボックス報告

11. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(10/27) ……

クラブフォーラム(米山記念奨学委員会)

卓話 「AIを活用した医療画像診断について
～過去・現在・未来～」

講師 米山奨学生

グエン カン コンさん

(紹介者 久米 博明 会員)

(11/3) ……休会(法定休日)

2. クラブフォーラム………〈社会奉仕委員会〉

13:00 卓話 「社会福祉法人ひかりの家の
歩みとこれから」

講師 社会福祉法人ひかりの家

理事長 大南 友幸様

こども発達支援センターひかりっこ

園長 木村 桂子様

(紹介者 出口 達也 会員)

12. 謝辞

13. 点鐘……〈会長〉

14. 閉会宣言

13:30 15. 散会

出席

会員総数 93名 出席免除 22名

出席義務者+免除者の内例会出席者 83名

欠席 14名 出席率 83.13%

前々回(9/29)の修正出席率 100%

会長報告

1) 10月9日(木)中京ゴルフ倶楽部石野コースにて、10月度ゴルフ例会が開催されました。グロス85、ネット71.8にて都築浩介会員が優勝されました。

同日知立RC、刈谷RC合同親睦ゴルフが開催され、知立RC高木秀夫会員がグロス94、ネット71.2で優勝されました。刈谷クラブでは都築浩介会員がネット71.8で惜しくも2位でした。

2) 本日11時から名古屋観光ホテルにて執り行われました、小林祥浩会員のお別れの会に参列してまいりました。

幹事報告

1) 服部智会員が退会されたので、会員数を93名と訂正致します。

2) 先日国際奉仕委員会より説明がありましたが、多文化共生フェスタが、10月26日(日)市民文化センターで開催されます。12時30分～、刈谷市国際交流協会会長、鈴木文三郎会員挨拶、13時25分から近藤会長が登壇し、参加賞贈呈があります。ご都合がつかれます方は、是非お越し下さい。

3) 刈谷市共同募金委員会より赤い羽根共同募金の依頼が来ています。ボックスをお回しますので、ご協力をよろしくお願い致します。

4) 本日例会終了後に特別会議室にて、第5回の理事会を開催致します。関係の会員はご参加をお願い致します。

会長あいさつ

近藤 純子



こんにちは！ 例会前に、故小林祥浩会員のお別れ会に参列してまいりました。有りし日のお姿を偲びつつ、ご冥福をお祈りしてまいりました。

本日はひかりの家の方々にご来訪頂いておりますが、10月7日に、今年度の地区補助金を活用しての社会奉仕事業としまして、社会奉仕委員会の方々と一緒にひかりの家さんのひかりっこ園に、駐車場に砂利を引かせて頂いたり、砂場の砂の補充をさせて頂いたり、遊具を寄贈して、組み立てて設置させて頂きました。遊具が完成した後、子供たちと一緒に遊び、とても楽しい時間を過ごさせて頂きました。詳しくは、卓話でお話があるかと思います。

さて、今週の木曜日10月24日は「世界ポリオデー」です。これは、初めて「不活化ポリオ・ワクチン」を開発したチームを率いた、米国の医学者ジョナス・ソーカ氏の誕生日を記念して制定されました。

「ポリオプラス」というのは国際ロータリーがポリオを地球上から根絶するために立ち上げたプロジェクトで、その活動は1979年に、フィリピンで600万人以上の子どもへのポリオワクチン購入プロジェクトが開始されたことに始まります。

プロジェクト名のプラスは、当初は、はしか、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳の予防も同時に行うことをさしていましたが、現在では、世界的なポリオ根絶運動がもたらす広範な効果を意味するようになっています。

そして、1985年より、国際ロータリーは民間によるものとしては、史上最大規模の国際的な公衆衛生イニシアチブとして、「ポリオプラス」プロジェクトを正式に開始し、世界の子どもたちに「ポリオによる身体マヒに怯えずに暮らせる世界」という約束をしました。

医療システム全体の改善や、安全な水の供給といった公衆衛生の向上にも貢献し、貧しい地域の子どもたちの命を救うための、より良い医療体制を築き上げることを目指して來ました。

多くの困難と長い道のりを経て、現在、野生型ポリオウイルスの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2カ国だけとなつたと言われております。

あと一步のところまで来ていますが、ポリオが世界のどこかに存在する限り、どこであろうと全ての子どもが、引き続きポリオの脅威にさらされていることに変わりはありません。世界中の子どもたちにワクチンを投与し続けなければなりません。根絶まであと一步です。そのため、ワクチンを投与するための資金が必要です。会員

のご協力は勿論のこと、多くの人たちにその必要性を理解して頂き、ご協力頂ける様に活動していきましょう。

今年度のガバナー方針は、「1年間を通して、ポリオ根絶に特に力を入れて活動しましょう！」です。私たち、刈谷クラブも、4月20日にハイウェイオアシスにて、募金活動を兼ねた「ポリオ例会」を計画しております。ご協力よろしくお願ひ致します。

地区補助金事業



社会奉仕委員会
委員長 出口 達也 会員

社会奉仕事業

「ひかりっこ」遊び場整備事業 報告

社会奉仕委員会

事業名	「ひかりっこ」遊び場整備事業
日 時	2025年10月7日（火） 10:00～11:00
場 所	子ども発達支援センター 総合保育園 ひかりっこ

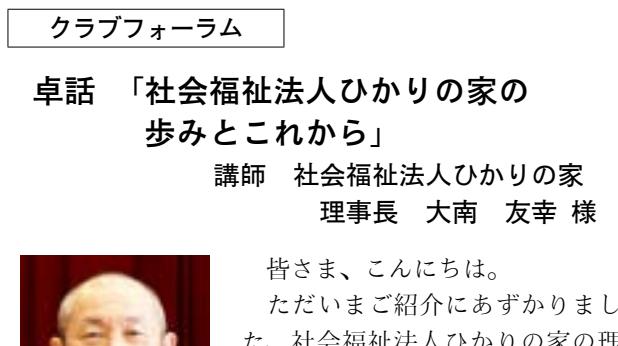


- 次第
- 開会の言葉
 - ロータリークラブ会長挨拶……会長/近藤純子
 - 目標説明……会長/近藤純子
 - 感謝の挨拶……理事長/大南反幸
 - ひかりっこの中完と
贈呈品詳細の説明……園長/木村桂子
 - 作業工程の説明……主任/松岡かおり
 - 作業開始
 - 完成後園児と交流
 - 園児よりダンスの披露とお礼の言葉
 - 閉会の言葉

ロータリークラブ会長挨拶

近藤純子 会長





本日は、このような貴重な場でお話しする機会を頂き、心より感謝申し上げます。

刈谷ロータリークラブの皆さんには、もう40年以上にわたり、私たち「ひかりの家」をあたたかく支えて頂いております。

バザーのご協力、施設整備へのお力添え、そして行事のたびにかけてくださる応援の言葉。

どれを取っても、私たちの歩みのそばには、常にロータリークラブの皆さまの姿がありました。

改めて、この場をお借りして、心から感謝申し上げます。直近では、令和7年10月、児童発達支援センター「ひかりっこ」に、砂場の整備と療育遊具のご寄付を頂きました。

子どもたちは本当にうれしそうに、毎日、体いっぱい動かして遊んでいます。

その笑顔を見るたびに、「支援のひとつひとつが、子どもたちの成長や保護者の安心につながっている」と実感します。

■ひかりの家の歩み

少し、私たち「ひかりの家」の歩みをご紹介します。原点は、今からおよそ60年前の1965年。

「刈谷地区心身障害児者を守る会」、通称「守る会」という有志の集まりです。

当時はまだ、障がいのあるお子さんを受け入れる施設がほとんどなく、多くの家庭が悩みを抱えたまま、孤立していました。

そんな中で、「障がいのある子にも、地域で学び、暮らす場をつくりたい」と立ち上がったのが、伊藤寿美亜さんと久米正枝先生、そして地域の有志の方々でした。

1973年には、地域の協力を得て「通所施設ひかりの家」を開設。

この年が、私たちの“法人としての原点”です。

その後、2002年に社会福祉法人となり、現在では、子どもから大人まで、幅広い障がい福祉サービスを展開しています。

具体的には――

児童発達支援センタ「ひかりっこ」、放課後等デイサービス「ひかりきらきら刈谷」、成人の生活介護事業所「風鈴」「そよ風」など、八つの事業所が力を合わせ、地域で暮らす障がいのある方々を支えています。

■これからの展望

さて、これから「ひかりの家」が目指すのは、理念にもある「地域共生社会」です。

障がいのある方も、子どもも、大人も、お年寄りも。

誰もがその人らしく暮らせる地域を、皆さんと一緒に形にしていきたい。

そのためには、福祉や医療の枠を越えて、家庭、企業、学校、地域団体など、あらゆる人が手を取り合うことが大切です。

刈谷ロータリークラブの皆さまをはじめ、地域の方々と協働しながら、

たとえば――

- ・子どもたちが地域の中で学び、遊び、育っていける環境づくり。
- ・障がいのある方が自然に地域と交わり、理解を深める機会づくり。
- ・地域全体で、お互いの暮らしを支え合える仕組みづくり。

こうした取り組みを、共に進めていけたらと願っています。

「ひかりの家」はこれからも、“地域の福祉拠点”であると同時に、地域と共に学び、支え合う“開かれた法人”

をめざします。

どうか今後とも、皆さまのお知恵とお力を貸してください。

■結びに

最後に一言、申し上げます。

ロータリークラブの皆さまが掲げる「奉仕の心」。

それは、私たちがめざす「共に生きる福祉」の精神と、まったく同じです。

「誰かのために何ができるか」「地域のためにどう動くか」。

その思いを共有しながら、これからも“共に歩むパートナー”として、地域の福祉を育てていきたいと思います。

本日は、まことにありがとうございました。

このあと引き続き、当法人「児童発達支援センターひかりっこ」の園長、木村桂子より、10月7日にロータリークラブの皆さまから頂いた寄付と奉仕のお礼を、スライドを交えてご報告いたします。

園児たちの笑顔を、ぜひご覧頂き、私たちの活動をより身近に感じて頂ければ幸いです。

どうぞよろしくお願ひいたします。

クラブフォーラム

「刈谷ロータリークラブの皆様へ 感謝申し上げます」

講師 こども発達支援センターひかりっこ
園長 木村 桂子 様



刈谷ロータリークラブの皆様には、40年以上にわたり「ひかりの家」を継続的にご支援頂き、心より感謝申し上げます。

このたび、10月7日に「ひかりっこ」の砂場整備や室内遊具の組み立て、そして子どもたちとの交流の機会を設けて頂きました。当日は、子どもたちが大喜びで、皆様と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。思いっきり体を動かし、笑顔いっぱいのひとときとなりました。

また、雨が降るたびに水たまりができていた駐車場の整備や、危険のあったログタワーの修繕、安全で使いやすいタオル掛けのご提供など、日々の生活に欠かせない部分にもご配慮頂き、誠にありがとうございました。子どもたちの健やかな成長のために、こうして地域の皆様に温かく支えられていることを改めて実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

今後とも、「ひかりの家」をどうぞよろしくお願い致します。

10月度刈谷 RC ゴルフ例会

令和7年10月9日(木)

於：中京ゴルフ倶楽部石野コース



成績	氏名	G	H	N
優勝	都築 浩介	85	13.2	71.8
2位	盛田 豊一	83	13.4	69.6
3位	塙本 幸夫	95	23.0	72.0
B B	近藤 純子	128	38.4	89.6



刈谷 RC・知立 RC 合同ゴルフコンペ

第5回理事会

I 会長挨拶 〈会長〉

II 議題

1. 11・12月のプログラム（案）について
　　〈クラブ奉仕委員長〉
　　〈プログラム委員長〉
2. クリスマス家族会について
　　〈クラブ奉仕委員長〉
　　〈親睦活動委員長〉
3. 新会員について
　　〈幹事〉
4. 次年度指名委員について
　　〈幹事〉
5. 第26回そろばんフェスティバル後援について
　　〈職業奉仕委員長〉
6. その他

III 会場監督の所見